



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社ディー・ディー・エス 上場取引所 東  
 コード番号 3782 URL http://www.dds.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三吉野 健滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 小野寺 光広 TEL 052-955-5720  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	574	△0.8	△73	—	△117	—	△120	—
2019年12月期第2四半期	579	89.5	9	—	△101	—	△42	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △100百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△2.88	—
2019年12月期第2四半期	△1.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	2,236	1,695	75.3	39.44
2019年12月期	1,998	1,583	78.7	37.61

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,683百万円 2019年12月期 1,571百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,660	42.6	330	—	354	—	369	1,504.3	8.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期 2 Q	42,690,300株	2019年12月期	41,790,300株
2020年12月期 2 Q	一株	2019年12月期	一株
2020年12月期 2 Q	41,832,332株	2019年12月期 2 Q	41,500,891株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(重要な後発事象)	9
(1株当たり情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (業績)

## (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、大幅な悪化となり、低水準で推移しました。

当社の主たる事業領域である情報セキュリティ業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響だけでなく、昨年のWindows 7からのPC買い替え特需も無くなり、セキュリティの見直しも一段落つき、需要が低調になりつつあります。しかしながら、在宅勤務のためのテレワークの普及、移動出張自粛によるTV会議の拡大などによりセキュリティの重要性が高まりました。それと同時にクラウドサービスの活用も広まってきており、利用者サイドにおいては、パスワードにとってかわる、より安全かつより簡単な本人確認に対するニーズが引き続き拡大してきております。

また令和2年度補正予算が可決され、GIGAスクール構想における1人1台のデバイス普及を小学校1年生から中学校3年生まで広げ、非対面型ビジネスモデルへの転換には3/4の補助がされるなど、認証市場は大きく成長するチャンスを迎えております。

製品面においては、コロナ禍において普及が急速に進んでおりますテレワークに強い様々な商品・サービスとの連携を進め、安全性と可用性を同時に高めることが出来るソリューションとして推進しております。さらに、我が国が推し進めているGIGAスクール構想において指定されている3つのデバイス（Windows・iPad・ChromeBook）にいち早く対応し、それを文教市場向けに安価で分かり易いライセンス制度のスクールパックを商品化し、文教市場でシェアの高い販売パートナーから支持を得ております。

販売面においては、案件開拓力向上のため従来行ってきた展示会などは取りやめ、Webでのセミナーであるウェビナーに取り組みました。さらに営業活動も訪問型ではなく、Webミーティング・電話会議システムによるお客様との打ち合わせを行い従来と違う手法で営業・マーケティング活動を行っております。

このような環境のなか、当社の主力事業であるクライアント・サーバーシステムEVEシリーズ・万能認証基盤Themisと指紋認証機器UBFシリーズを中心としたバイオ事業については、テレワーク対象者増加による追加購入を数多く受注し、若干のプロジェクト遅延があったものの概ね計画通りに推移しました。

マガタマ・FIDO事業については、アップル社のFIDOボードメンバーとしての参画がありました。また、iOS版SafariのFIDO 2対応が9月リリースと発表されたものの未だサービスインには至っておりませんので売上には貢献できていない状況ですが、ベータ版を使用したサービス化への準備は着々と進んでおり、年度内のサービス化に向け進めております。さらにお客様事例として、マガタマサービスを適用したインターネット漫画喫茶「自遊空間」のセルフオペレーション型店舗は、正に非対面型ビジネスモデルであり、今後は同システムの横展開に於いてお客様先にて非対面型サービス支援補助金等の活用が見込める状況になりました。

海外・アルゴリズム事業については、海外販売会社の売上増加は顕著化しております。しかしながら、アルゴリズム事業は、協業先と一体となりセンサーメーカーのスマホへの組み込みに向けたテストを繰り返し実施中で、量産準備は順調に進んでいるものの量産採用の発表には至っておらず、予定通りに受注出来るよう鋭意努力をしております。この度、アルゴリズムを提供するビジネスモデルから、アルゴリズムを含む指紋認証センサーを提供するビジネスモデルへと転換を図るべく、新株予約権の発行を決議いたしました。これにより、大きな売上を見込めるよう進め、今年度はアルゴリズムだけでなく、指紋認証センサーも含めた事業体制を確立して参ります。

新型コロナウイルス感染症拡大により、4月初頭より当社では東京支社を中心に在宅勤務を始め、状況に応じ全社にて在宅勤務を行っております。しかしながら、予め事業継続を前提にテレワークに耐えうる情報システムを構築しておりましたので、業務への支障は起きておりません。もしも社員に感染者が発生しその部署が自宅待機になったとしても、事業継続性に問題は発生しません。また、需要についてもプロジェクトの遅延は見られるものの、逆にテレワークの増加による追加発注やプロジェクトの前倒しが見られ、大きな変化は有りません。さらに、サプライチェーンの寸断についても、十分な在庫を確保できており機会損失も起きておりません。

しかしながら今後の状況により、プロジェクトの遅延や中止、指紋認証センサー量産化への悪影響なども否定できません。もしも業績見込みに変更が生じた場合には速やかに発表させていただきます。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は574百万円（前年同期579百万円）となりました。損益面においては、販売費及び一般管理費は前年同期比で8百万円減、営業損失73百万円（前年同期は営業利益9百万円）、経常損失117百万円（前年同期は経常損失101百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失120百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失42百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、主として現金及び預金の増加(363百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて191百万円(12.3%)増加し、1,755百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金587百万円、売掛金825百万円、製品170百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて46百万円(10.7%)増加し、481百万円となりました。この内訳は、有形固定資産277百万円、無形固定資産19百万円、投資その他の資産183百万円であります。投資その他の資産のうち、投資有価証券は54百万円で、これは主にNokNokLabs, Inc等に対する出資金から構成されております。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、主として前受収益の増加(2百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて73百万円(23.5%)増加し、386百万円となりました。この主な内訳は、買掛金30百万円、賞与引当金12百万円、前受収益130百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、主として長期前受収益の増加(50百万円の増加)により、前連結会計年度末に比べて52百万円(50.9%)増加し、154百万円となりました。この主な内訳は、退職給付に係る負債31百万円、長期前受収益123百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主として資本金の増加(106百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて112百万円(7.1%)増加し、1,695百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想は、2020年2月14日に公表いたしました「2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	224,061	587,500
売掛金	757,005	825,998
電子記録債権	50,075	9,575
製品	127,191	170,073
短期貸付金	209,000	209,000
立替金	2,187	15,838
役員に対する短期貸付金	193,926	193,926
未収入金	250,901	1,973
その他	65,465	67,356
貸倒引当金	△315,942	△325,669
流動資産合計	1,563,872	1,755,571
固定資産		
有形固定資産		
土地	275,083	275,083
その他(純額)	2,355	2,721
有形固定資産合計	277,438	277,804
無形固定資産		
ソフトウェア	24,782	19,650
無形固定資産合計	24,782	19,650
投資その他の資産		
投資有価証券	55,271	54,355
関係会社株式	32,922	32,922
その他	83,407	124,750
貸倒引当金	△39,217	△28,301
投資その他の資産合計	132,382	183,726
固定資産合計	434,603	481,181
資産合計	1,998,476	2,236,753

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,668	30,428
未払法人税等	10,940	6,665
賞与引当金	4,612	12,241
前受収益	127,360	130,326
その他	125,380	206,816
流動負債合計	312,962	386,478
固定負債		
長期前受収益	72,552	123,525
退職給付に係る負債	29,709	31,036
繰延税金負債	170	—
固定負債合計	102,432	154,561
負債合計	415,394	541,040
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	763,842	869,952
資本剰余金	763,842	869,952
利益剰余金	183,163	62,827
株主資本合計	1,710,847	1,802,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	△314
為替換算調整勘定	△139,419	△118,791
その他の包括利益累計額合計	△138,988	△119,106
新株予約権	11,222	12,087
純資産合計	1,583,081	1,695,712
負債純資産合計	1,998,476	2,236,753

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	579,162	574,326
売上原価	203,701	290,511
売上総利益	375,461	283,814
販売費及び一般管理費	365,957	357,443
営業利益又は営業損失(△)	9,504	△73,628
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,017	1,989
その他	—	2,124
営業外収益合計	2,017	4,113
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	66,000	—
為替差損	44,747	45,747
租税公課	852	1,455
支払報酬	1,367	442
その他	56	69
営業外費用合計	113,023	47,715
経常損失(△)	△101,501	△117,230
特別利益		
新株予約権戻入益	60,389	—
特別利益合計	60,389	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,112	△117,230
法人税、住民税及び事業税	4,411	963
法人税等調整額	△3,088	—
過年度法人税等	—	2,141
法人税等合計	1,322	3,104
四半期純損失(△)	△42,434	△120,335
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,434	△120,335



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△42,434	△120,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△760	△745
為替換算調整勘定	26,855	20,627
その他の包括利益合計	26,095	19,881
四半期包括利益	△16,339	△100,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,339	△100,453

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,112	△117,230
減価償却費	10,784	10,172
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,910	7,628
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,168	1,326
貸倒引当金の増減額(△は減少)	66,000	△1,188
受取利息及び受取配当金	△2,017	△1,989
為替差損益(△は益)	44,747	38,704
売上債権の増減額(△は増加)	△130,661	△28,271
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,075	△42,863
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,134	△13,783
立替金の増減額(△は増加)	1,902	△13,650
新株予約権戻入益	△60,389	—
その他	35,104	129,274
小計	△87,772	△31,872
利息及び配当金の受取額	2,017	50
法人税等の支払額	△34,219	△7,405
法人税等の還付額	723	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119,251	△39,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,359
敷金及び保証金の差入による支出	△3	△41,370
貸付けによる支出	△315,431	—
貸付金の回収による収入	3,000	—
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	233,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△312,434	190,414
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	23,716	210,600
新株予約権の発行による収入	—	11,556
その他の支出	—	△9,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,716	213,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	△463	△834
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△408,433	363,438
現金及び現金同等物の期首残高	581,708	224,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	173,274	587,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月18日から2020年6月26日までの間に、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社から第9回新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が106百万円、資本剰余金が106百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が869百万円、資本剰余金が869百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△1円02銭	△2円88銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額(△) (千円)	△42,434	△120,335
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純損失金額(△)(千円)	△42,434	△120,335
普通株式の期中平均株式数(株)	41,500,891	41,832,332

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。